

おどる街 つながる笑顔
水都とくしま

ごみ処理施設整備に関する説明会

徳島市



SDGs 未来都市
徳島市

- 1. 整備する施設の概要**
- 2. 建設予定地における災害リスクと
対策に関する検証結果**
- 3. 北島町との一般廃棄物の処理に
関する協議の状況**

1

整備する施設の概要

(1) 建設予定地

▶ 場所

マリンピア沖洲
北部浄化センター敷地

▶ 面積

約 4.7 ha



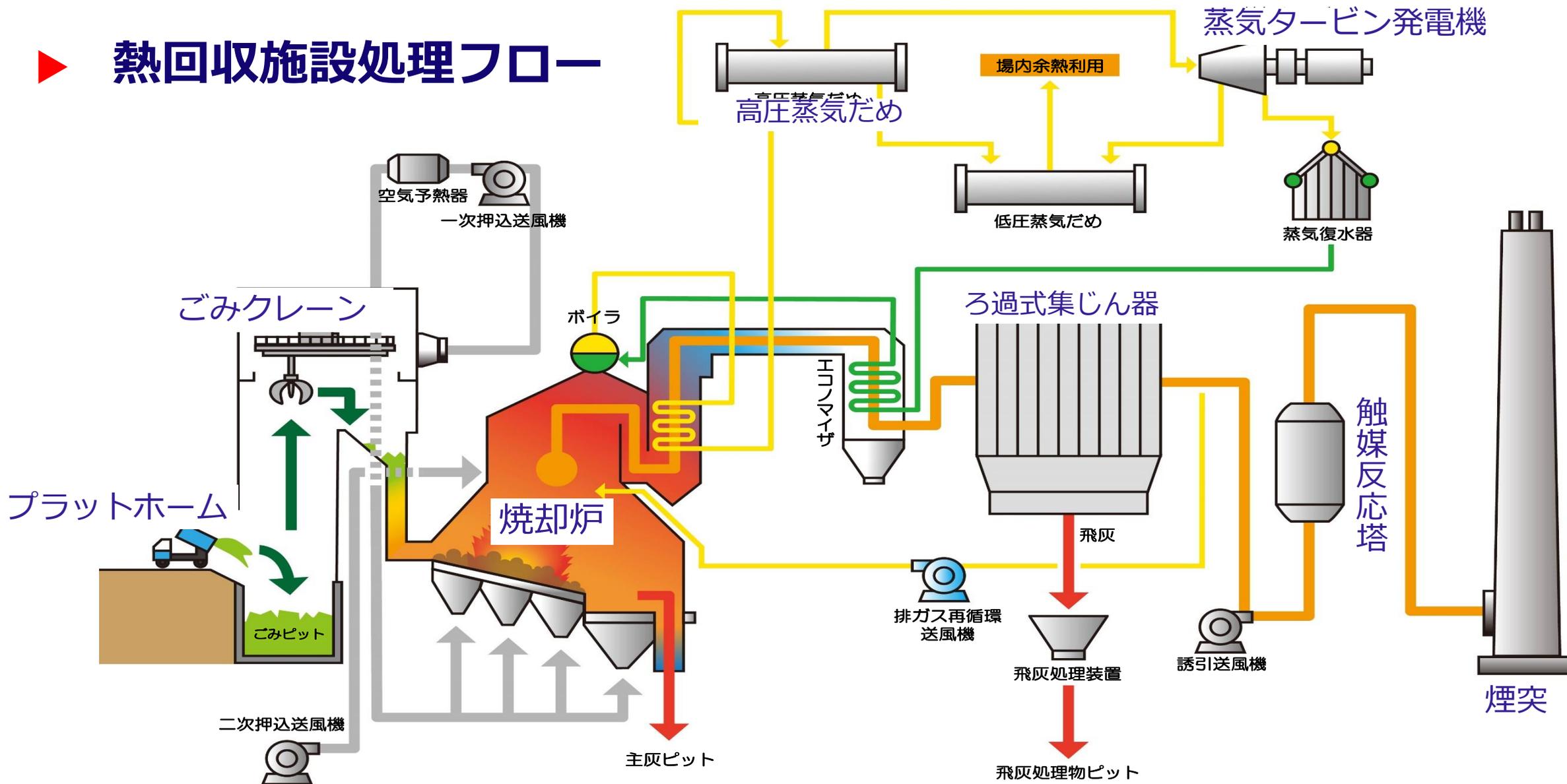
① 熱回収施設（焼却施設）

- ▶ **機能** 可燃ごみ等を焼却し、最終処分量を減量
- ▶ **処理対象ごみ等**
 - ・ 分別頑張ったんやけど、燃やすしかないごみ(可燃ごみ)
 - ・ し尿処理施設等から出る脱水汚泥
 - ・ リサイクルセンターから出る可燃残渣
 - ・ 災害廃棄物（風水害時に発生する災害ごみ）
- ▶ **施設規模** 最大 282 t /日
- ▶ **処理方式** ストーカ式（2炉または3炉を想定）
- ▶ **熱回収** 焼却熱を利用して**高効率発電**を行う。

(2) 整備する施設

1. 整備する施設の概要

▶ 熱回収施設処理フロー



(2) 整備する施設

② リサイクルセンター

- ▶ **機能** 再資源化できるごみを選別・保管
- ▶ **処理対象ごみ**
 - ・ 燃やせないごみ
 - ・ 粗大ごみ
 - ・ 資源ごみ
 - ・ 有害ごみ
- ▶ **施設規模** 64.2 t /日

(2) 整備する施設

③ 環境学習施設

▶ 環境学習の充実

- 子どもたちの環境学習や、市民に環境問題への理解を深めてもらえる機会を提供
- 施設見学ルートの設定
(下水処理施設とも連携検討)
 - 環境学習講座の開催
 - ごみ分別ゲームなどの遊びを通じた環境学習機能整備など



(3) 交通影響について

▶ 搬入出車両想定台数

平均 279 台/日

▶ 搬入ルートのご検討

- 県道沖ノ洲埠頭線を通る北側ルートを主なルートに設定

※ 周辺の道路環境も大きく変わることが見込まれるため、適切な時期に再度交通量調査を実施

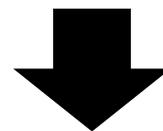


(4) 整備スケジュール

施設完成までの主な手続き・期間等

- ▶ 施設整備基本計画の見直し
- ▶ 施設整備基本設計策定・・・約4年
- ▶ 環境影響評価・・・上記と並行して約4年
- ▶ 土地造成・・・・・・・・1年～1年半
- ▶ 施設建設工事・・・設計・施工で4年～4年半

完成まで
約10年



令和16年度 施設稼働を予定

2

建設予定地における災害リスクと対策に関する 検証結果

(1) 検証の目的等

▶ 目的

- 建設予定地（マリンピア沖洲）は、沖合の埋立地
- 住民説明会等において、津波に対する不安や災害対策についての意見があった。

現在検討している対策が十分なものか検証
⇒ 市民の疑問や不安に応えることを目的

▶ **実施時期** 令和6年7月～令和7年2月にかけて実施

(1) 検証の目的等

▶ 検証方法

① 被害想定・災害対策の整理

- ハザードマップや地質調査の結果など建設予定地の災害リスクの整理
- 市でこれまで検討した計画施設の災害対策の整理

② 津波・地盤リスクに関するシミュレーションの実施

- 津波のせり上がりを加味した建設予定地の浸水想定シミュレーション
- 液状化など地盤のリスクに関するシミュレーション

③ 有識者による評価

- 津波や地盤などの知見を有する5人の有識者に検証内容の評価を依頼

(2) 建設予定地の被害想定

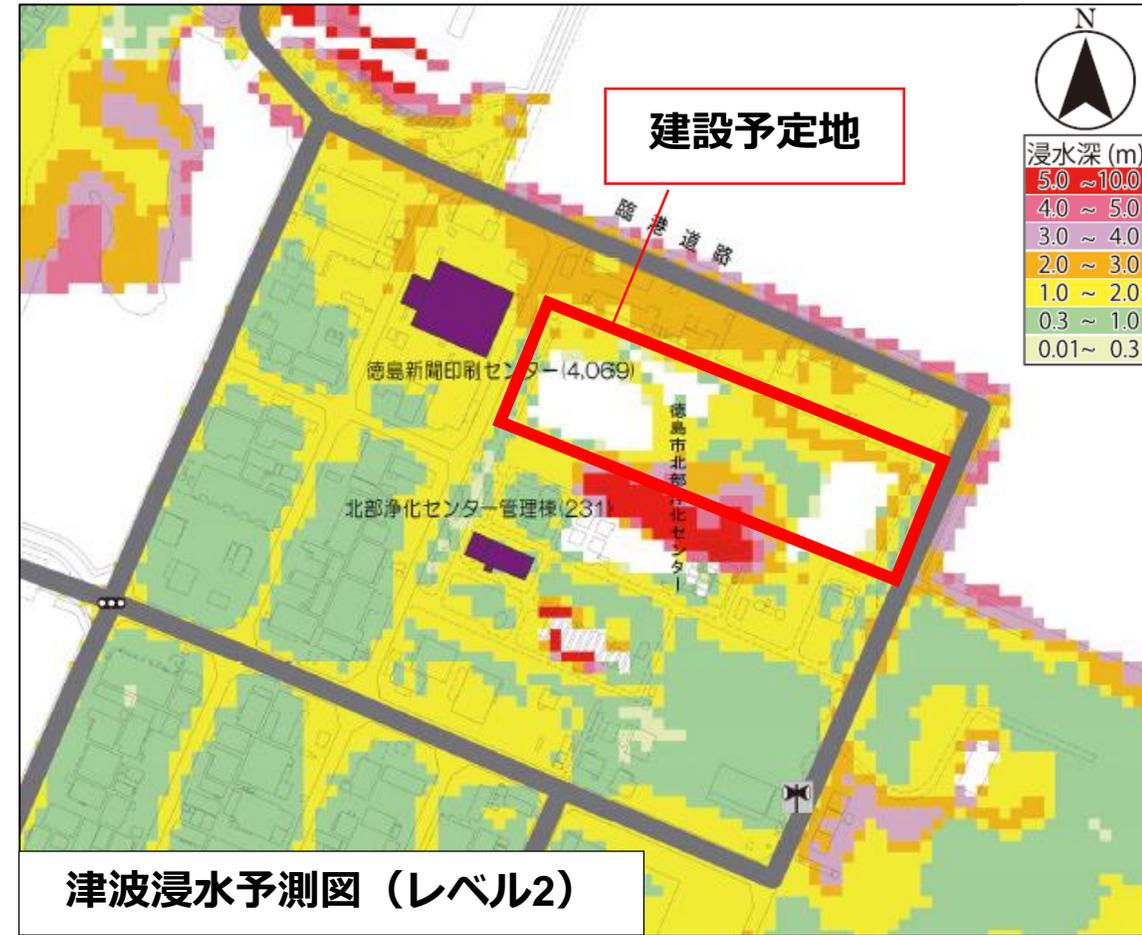
▶ 想定震度(南海トラフ)

- ・レベル1：震度6強
- ・レベル2：震度7

▶ 津波浸水想定(南海トラフ)

- ・レベル1：想定なし
- ・レベル2：0～3.0mの想定
(高潮も同程度の想定)

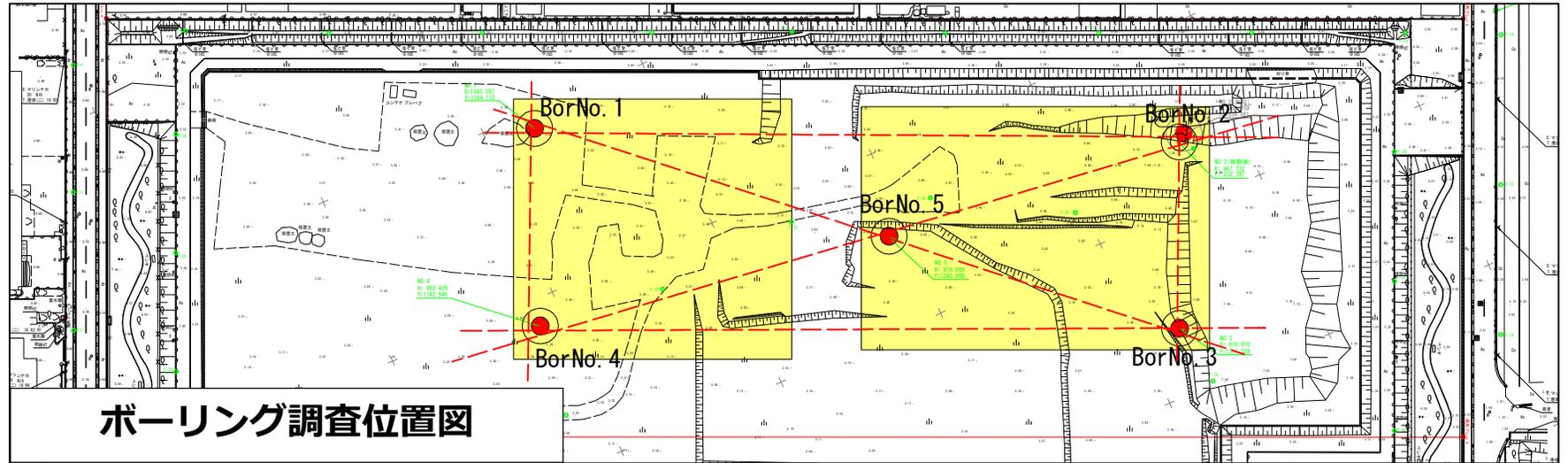
▶ 洪水・土砂災害の想定 なし



(3) 地質調査結果

- ▶ 実施時期
- ▶ 調査箇所

令和5年1月～令和6年6月
敷地内の5か所でボーリング調査



- ▶ 調査結果

- ・ 液状化指数：3か所が0～5(危険度低)
2か所が5～15(危険度高)
(※指数15以上〈危険度が極めて高い〉はなし。)
- ・ 支持層はDg1層(深度45～70m)が望ましい

(4) 新施設に求められる対応

▶ 新施設の非常時業務継続計画(BCP)策定の考え方



▶ 長期の稼働停止を避けるための必要事項(BCP実行)

- 新施設が地震の揺れや津波で倒壊しない
- 重要な機器(特に電気を使用するもの)が浸水しない
- 運転に必要な備品等を確保する(備蓄)
- 施設へのアクセスを確保する

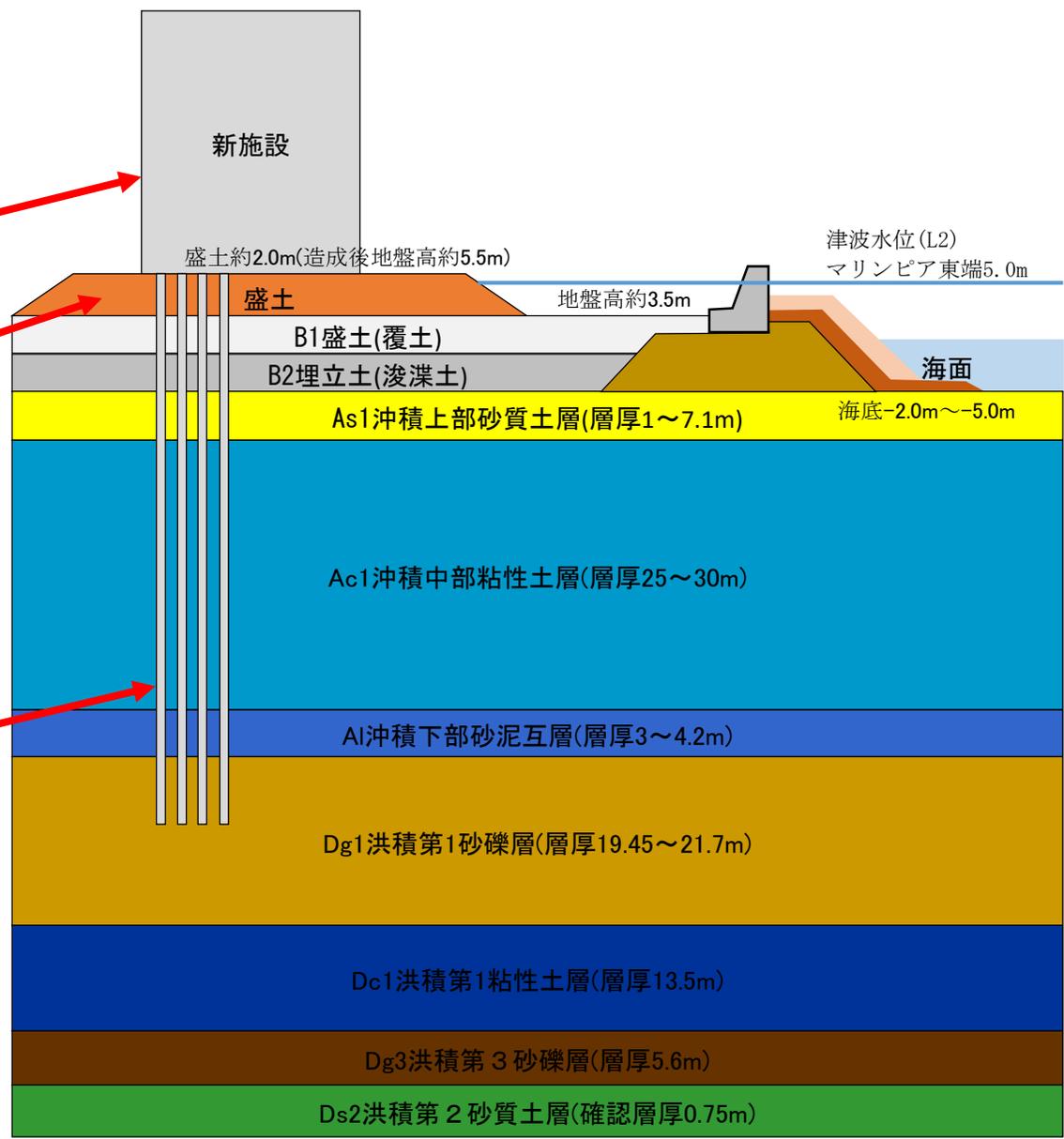
(5) 災害対策の概要

重要設備は2階以上に設置

浸水しない高さまで盛土(2m程度)

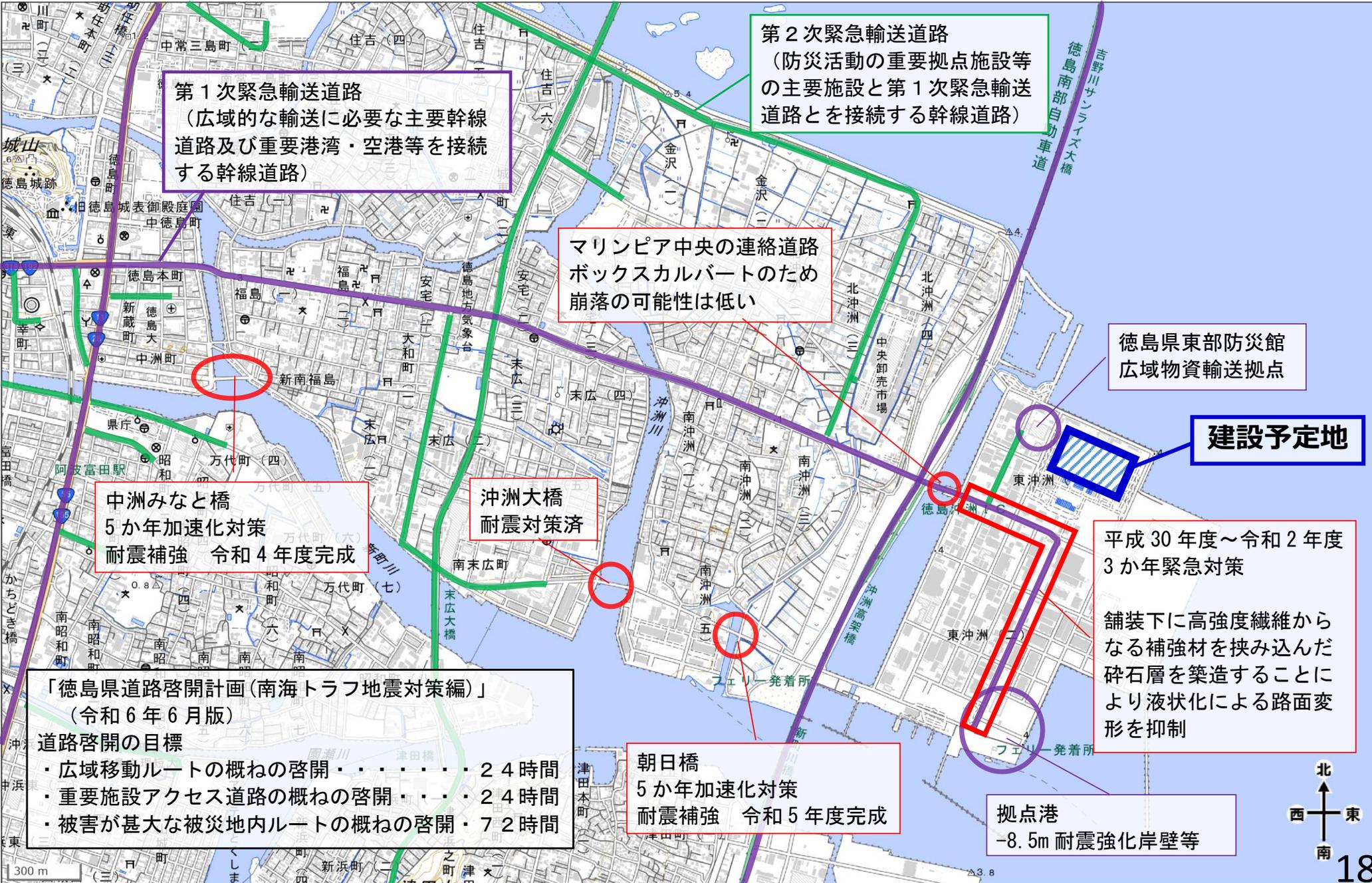
基礎杭の打設

**その他：非常用発電設備の設置
水・燃料等の備蓄**



(6) 周辺道路の状況

建設予定地は、新施設へのアクセスが確保されやすい場所と言えます。



(7) 津波浸水シミュレーション

▶ シミュレーションの手法・条件

- ・ 徳島県津波浸水想定と同様のモデルで計算
- ・ 周辺の地形・建物データを高度化
- ・ 本市が計画する建設予定地の盛土造成(2m)も考慮

▶ シミュレーション結果

- ・ まずは、**地震発生後の時間ごとの津波浸水シミュレーションの動画**をご覧ください。

(7) 津波浸水シミュレーション

- ・ 浸水シミュレーション図
(最大) は右図のとおり

※白色は未浸水

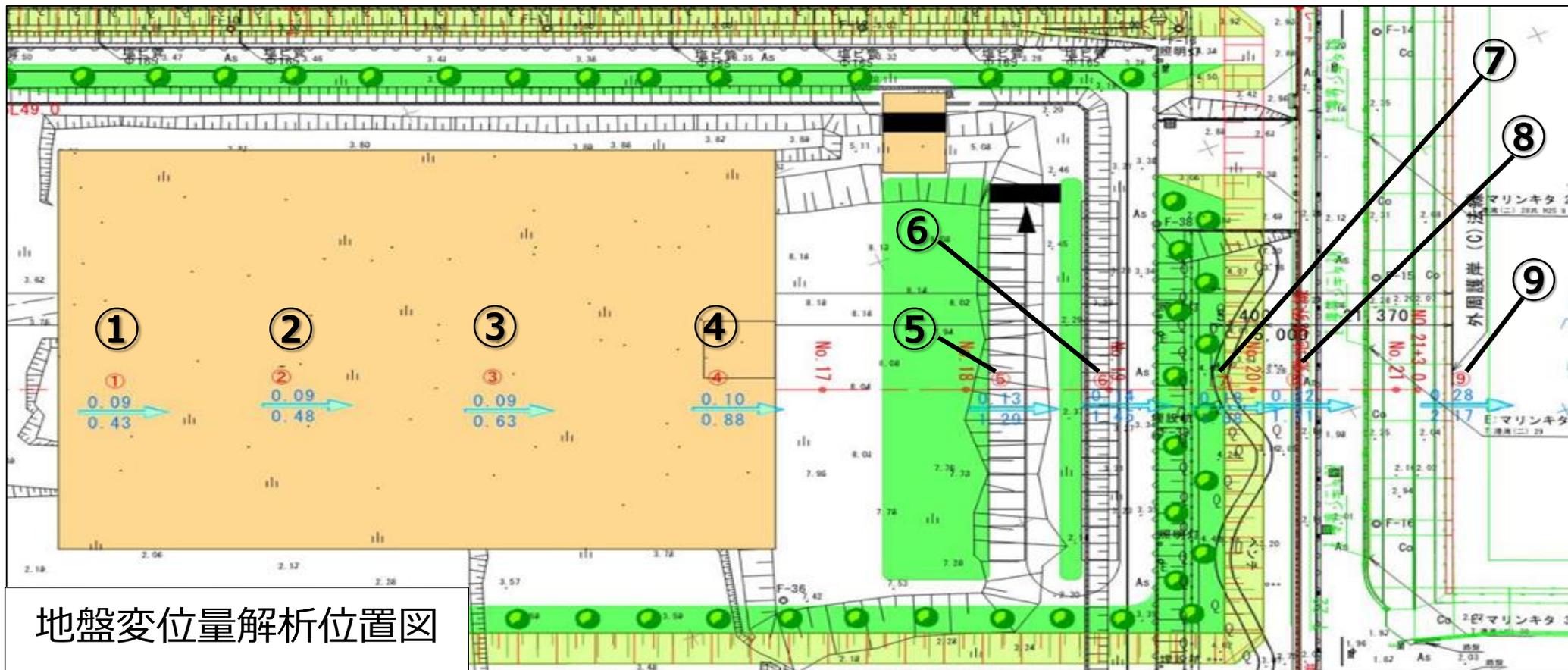
シミュレーション結果

- ・ 最大ケースでも、**盛土造成**
で津波浸水の回避は可能
- ・ 津波のせり上がりは無し
(盛土を回り込む)



▶ シミュレーションの手法・条件

- 地質調査や計画盛土を考慮してシミュレーションを実施



(8) 地盤リスクシミュレーション

▶ 地盤沈下量・地盤変位量

(単位：m)

規模	項目	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
L1	沈下量↓	0.64	0.63	0.59	0.55	0.54	0.55	0.54	0.48	0.46
	変位量→	0.09	0.09	0.09	0.10	0.13	0.14	0.18	0.22	0.28
L2	沈下量↓	0.89	0.86	0.79	0.81	0.97	1.03	0.98	0.80	0.85
	変位量→	0.43	0.48	0.63	0.88	1.29	1.45	1.58	1.71	2.17

※地盤沈下は、上記の計算結果に加え、次の沈下が見込まれる。

- ・ 盛土施工に伴う圧密・即時沈下 : 0.03m～0.49m
- ・ 地震による地殻変動での沈降 : レベル1は0.36m
(徳島県津波浸水想定には反映) レベル2は1.18m

(9) 検証を踏まえた本市の方針

シミュレーション結果について

津波・地盤沈下等の災害リスクは否定できない



対策も様々な方法があり、十分可能な範囲と考えられる

有識者からの指摘事項

- ▶ 災害リスクの高い地域 ⇒ **余裕を考えた災害対策**の必要性
- ▶ **災害は想定外が起こり得る**ことに留意する必要性
- ▶ **施設の運用（避難訓練等）**について、**地域と共有**の必要性

(9) 検証を踏まえた本市の方針

検証を踏まえた本市の方針

現在の計画どおり

**マリンピア沖洲の北部浄化センターの未利用敷地を
建設予定地として事業を進めることとします**

【今後の検討】

- ▶ 有識者からの指摘事項の適切な反映
(今後実施する設計において検討)
- ▶ 災害リスクを考慮した施設の運用方法 (訓練等) の検討

3

北島町との一般廃棄物の処理に関する協議の状況

(1) 協議の状況

- ▶ 令和7年3月3日に北島町長から、徳島市の新施設で北島町のごみを処理できないか協議したいとの申入れ

協議の状況

- 本市の考え方を北島町に提示し、その内容を基に協議
- 北島町からは、
新施設で可燃ごみの受け入れをお願いしたい
中継施設を整備し、運搬車両を少なくしたい など、
提示した本市の考え方に対し、概ね異論がなかった。

本市の方針

北島町の可燃ごみの処理を引き受ける方針としたい

おわりに

- ▶ ごみ処理施設は、全市民の日々の生活を支える市の最重要施設。
- ▶ 現在運転している東西の環境事業所は、稼働開始からそれぞれ45年、34年が経過。
- ▶ 一般的に、ごみ処理施設（焼却炉）は、20年～30年程度で更新等されていることから、本市においても施設の更新は待ったなしの状況。



Ⓢ 東部環境事業所（論田町）
Ⓣ 西部環境事業所（国府町）



新施設の早期整備に向け、令和7年度～令和10年度に実施

基本設計

施設整備基本計画で定めた施設の機能等の基本的事項について、より詳細に検討し、今後の整備工事の発注に使用する仕様書や設計書を作成するもの

環境影響評価

環境の保全の観点から、よりよい事業計画を作成するため、施設の整備による環境への影響を調査、予測及び評価を行うもの

これらの作業の中で、防災対策も含めより具体的な整備内容や環境への影響を調査・検討し、地域の皆様にその内容をお示しいたします。

地域との信頼関係を築きながら、
将来の市民生活を
支えることができ、
災害にも強い、施設の整備に
しっかりと取り組んでまいります。

おどる街
つながる笑顔
水都
とくしま



【お問い合わせ】

徳島市 環境部 環境施設整備室

☎ 621-5220 FAX 621-5210

E-mail : kankyo_sisetu@city-tokushima.i-tokushima.jp